地方独立行政法人神戸市民病院機構
神戸市立医療センター西市民病院

西市民病院だより

No.295
令和８年
10月号

〒653-0013 神戸市長田区一番町２－４ Tel 576－5251㈹ Fax 579－1920 地域医療在宅支援室

大腸憩室出血に対する当院の診療体制



消化器内科 副医長 中村 真治

●はじめに

高齢化と抗血栓薬を内服される患者さんの増加を背景に、大腸憩室出血は下部消化管出血の原因として最も頻度の高い疾患となりました。その多くは自然に止血が得られますが、なかには大量出血からショックに至る症例、出血源が同定できず対応に難渋する症例、短期間に再出血を繰り返す症例があり、先生方が判断に苦慮される場面も少なくないと存じます。本稿では当院の診療の流れ、そして退院後の連携についてご紹介いたします。

●まず行うこと ― リスク評価と造影 CT

血便で受診された患者さんには、バイタルサインをただちに確認し、循環動態の安定化を最優先しております。そのうえで活動性出血が疑われる症例には可及的速やかにダイナミック造影CTを撮影します（図1）。造影剤の血管外漏出像をとらえることができれば、多数ある憩室のうち出血部位をあらかじめ絞り込むことができ、続く内視鏡検査の出血源同定率向上と検査時間の短縮に大きく寄与します。

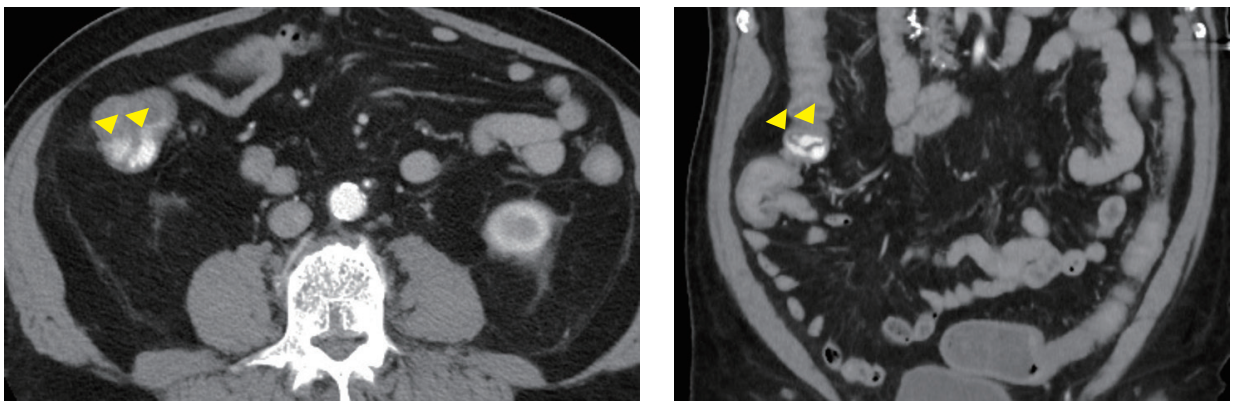
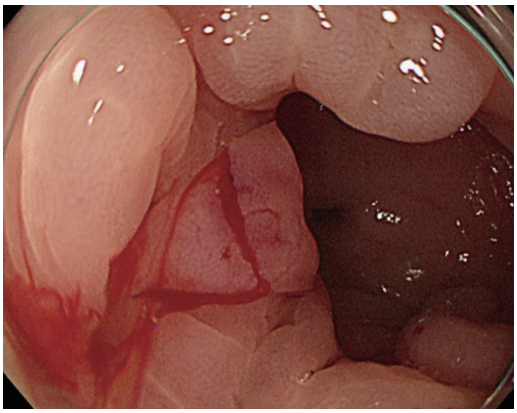


図 1. 造影 CT での血管外漏出

軸位断　　冠状断

●緊急内視鏡による止血

憩室出血の治療において最も重要であり、かつ最も困難なのは、多数存在する憩室のなかから出血源を同定することです（図2）。当院では、待機的に施行可能であれば経口腸管洗浄液による前処置を行い、緊急であれば前処置なしで腸管内を送水洗浄しながら下部消化管内視鏡検査を実施します。先端フードを装着して送水しながら憩室の一つひとつを丁寧に観察し、露出血管や凝血塊の付着といった出血徴候を探索いたします。



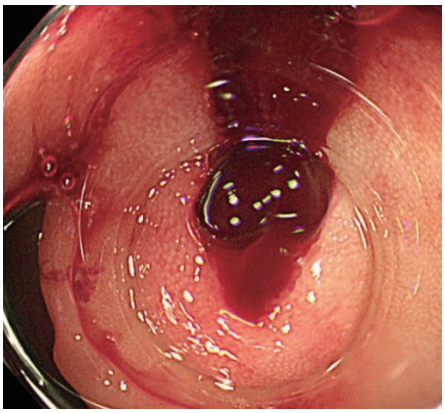
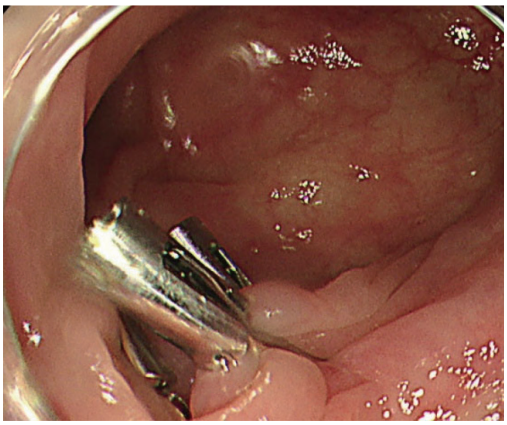


図 2

憩室内びらんからの活動性出血　　付着凝血塊

出血源が同定できた場合には、患者さんの体格や病変の部位に応じて、クリップによる血管の選択的止血、あるいは内視鏡的結紮術（EBL）を選選択し、確実な止血を図ります（図 3）。



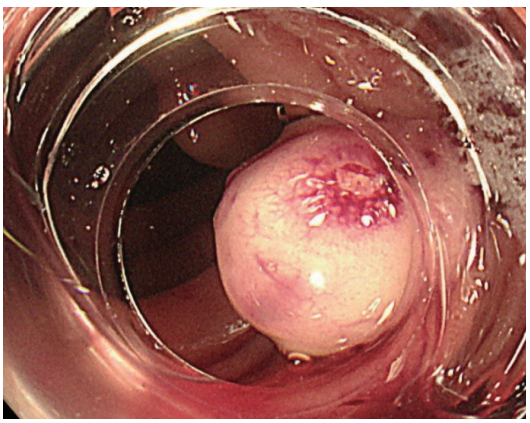


図 3

SureClip®による止血　　Endoligar®よる止血後（EBL）

●内視鏡で止血できない場合

内視鏡的止血が困難な症例や、循環動態が極めて不安定で内視鏡検査に耐えられない症例に対しては、放射線科と連携して経カテーテル動脈塞栓術（TAE）を行いますが、夜間は当院で施行できないため施行可能な病院と連携し、速やかに転送を行っております。腸管虚血という重篤な合併症を避けるため、可能な限り末梢での選択的な塞栓を心がけております。それでもなお止血が得られない症例や再出血を頻回に繰り返す症例では、消化器外科と協議のうえ手術を検討いたします。

●退院後の管理と地域の先生方との連携

憩室出血は止血が得られたあとも再出血率が高いことが知られており、退院後の管理が患者さんの予後を大きく左右します。休薬した抗血栓薬につきましては、血栓症のリスクを踏まえて原則早期に再開する方針としております。あわせて、便秘の是正や NSAIDs の見直しについても、先生方へご相談させていただきます。再出血が疑われる際には、時間帯を問わず当院にご連絡いただければ、外来もしくは救急外来にて対応いたします。

●おわりに ― こんなときはご相談ください

血便を主訴とされる患者さんのうち、ショックバイタルを伴う場合、抗血栓薬を内服されている場合、血便を繰り返している場合、また高齢で併存疾患をお持ちの場合には、どうぞ躊躇わずにご連絡ください。地域の先生方と当院とが役割を分担しながら、患者さんが安心して日常生活を続けていただける医療を提供してまいります。今後とも変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

胃瘻造設のご依頼について

当院では、地域の医療機関からの「胃瘻造設」のご依頼を、**消化器内科**にてお受けしております。ご希望の患者さんがいらっしゃいましたらご紹介お願いいたします。

●入院期間：原則 2 泊 3 日（月曜日～水曜日）
●依頼方法：(1)「地域医療在宅支援室」(電話：078-576-5251 (代表)) までお電話ください。
(2) 下記 2 点を「地域医療在宅支援室」宛てに郵送でお送りください。
①診療情報提供書
②CT 画像（※手元にない場合は、当院で撮影いたします）

地域医療支援事業運営委員会開催報告

令和8年9月17日（木）に地域医療支援事業運営委員会が開催されました。地域医療支援病院としての業務報告などについて意見交換が行われました。

出席者

委員長：中村 陽子（長田区医師会会長）
委　員：久次米 健市（神戸市医師会副会長）、水谷 肇（兵庫区医師会会長）、前川 透（須磨区医師会会長）、中村 俊一（神戸市健康局保健所部長）、大槻 忠義（長田消防署長）、吉岡 大地（兵庫消防署長）、柳 真一郎（須磨消防署長）、山下 淑子（長田区連合婦人会会長）、松原 健治（みんなのかかりつけ訪問看護ステーション所長）、 中村 一郎（当院院長）、丹生 健一（当院院長代行）



令和 8 年度西市民連携セミナー
兵庫県医師会地域包括診療加算・地域包括診療科に係る研修会開催報告

令和8年9月12日(土)、兵庫県医師会館において、令和8年度西市民連携セミナー/兵庫県医師会地域包括診療加算・地域包括診療科に係る研修会が開催されました。171名の参加があり、当院の４名の医師が登壇しました。来年度も開催される予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

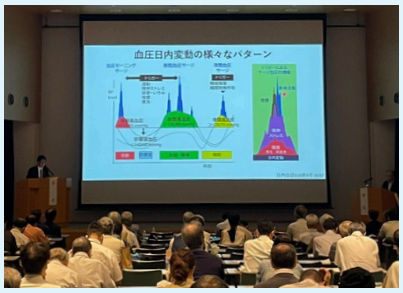
1.糖尿病（糖尿病・内分泌内科 部長 中村 武寛）

合併症予防に向け「みつける・つなげる・つづける」を掲げ、受診中断対策の重要性が提示されました。病院と診療所が協働する「Kobe DM net」や「ワンタイム連携」など、かかりつけ医と基幹病院による効率的な病診連携モデルが紹介されました。



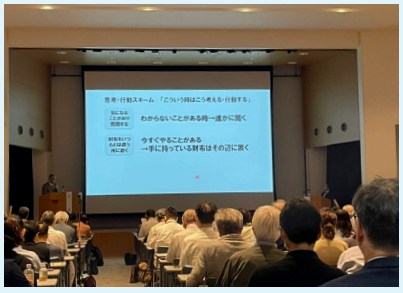
2.腎性高血圧（腎臓内科 医長 渡邉 周平）

仮面高血圧の見逃し防止や最新ガイドラインに沿った管理法が解説されました。患者の価値観に寄り添う共同意思決定（SDM）や多職種カンファレンスの実践、CKD 紹介基準に基づく適切な病診連携の進め方が示されました。



3.認知機能の障害（認知症疾患医療部 部長 木原 武士）

診断基準や脳内ネットワークの病理変化が解説されました。抗アミロイド抗体薬による医学的治療に加え、予測誤差を抑えるケアやデジタル・環境設計（認知外部化）による早期からの生活支援が提唱されました。



4.脂質異常症（循環器内科 部長代行 平沼 永敏）

動脈硬化性疾患の疫学とガイドラインに基づく包括的管理が解説されました。最新の薬物療法（インクリシラン等）の実践や、重症化予防に向けた積極的な病診連携が呼びかけられました。



ＮＳＴオープンカンファレンス開催のご案内

日　　時：**令和８年１２月１０日（木）１８:００～１９:３０**

場　　所：当院北館３階講義室

テ ー マ ：「多職種で挑む重症患者の栄養療法～初期対応からその先へ～」

講　　師：神戸大学大学院医学系研究科　外科系講座　災害・救急医学分野　教授　大島 拓 先生

申込方法：右の QR コードからお申込みいただくか、w_kouza@kcho.jpへ以下の内容を送信してください。

①「ＮＳＴオープンカンファレンス」

②「氏名」、「施設名」、「職種」、「返信用メールアドレス」、「電話番号」、「所属区」

締 切 日 ：令和８年１２月４日（金）

西市民病院へのご意見フォーム（医療関係者用）の開設について

当院では、地域連携の強化とサービス向上のため、医療関係者の皆様を対象としたアンケートフォームを開設しました。お手数ですが、下記の QR コードよりご意見をお寄せいただけますと幸いです。 いただいたご意見は、今後の運営改善の貴重な資料とさせていただきます。

※全てのご意見にお返事を差し上げることはいたしかねますので、

あらかじめご了承ください。 皆様のご協力をお願い申し上げます。



医師の転出・転入等のお知らせ

【転出等　9月30日付】

所属	補職	氏名
呼吸器内科	専攻医	安積　慶
呼吸器内科	専攻医	片山　大地
小児科	専攻医	中川　凪
消化器外科	専攻医	寶子丸　佳音
呼吸器外科	専攻医	白羽　範昭
整形外科	専攻医	十川　裕士

【転入等　10月1日付】

所属	補職	氏名
呼吸器内科	専攻医	杉山　貴康
呼吸器内科	専攻医	宇都宮　菜那
小児科	専攻医	島田　理穂
消化器外科	専攻医	久保　碩生
呼吸器外科	専攻医	津山　泰徳
整形外科	医長	渡邉　睦
整形外科	専攻医	佐野　亮太

［ＦＡＸ予約専用］

神戸市立医療センター西市民病院　診療予定表

令和８年10月１日～

【受付時間】
受付：午前8時45分～11時45分
（午後は原則として予約診察のみ／土・日・祝・年末年始は休診）

【お問い合わせ先】
ＴＥＬ：078-576-5251
ＦＡＸ：078-579-1943（※診療情報提供書送付先）

赤字は女性医師

	月		火		水		木		金		備考
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
呼吸器内科	冨岡洋海 山田夕輝 李　正道	山田夕輝 李　正道	冨岡洋海 藤井　宏	冨岡洋海 藤井　宏	網本久敬 宇都宮菜那	網本久敬 宮前秀彬	横田　真 瀧口純司	横田　真 瀧口純司	医師交替制	杉山貴康 中村慧竣 芦名萌衣佳	火）午後 冨岡医師 （専門外来　間質性肺炎） 木）午後 瀧口医師 （専門外来 非結核性抗酸菌症） 禁煙外来）水 金）中村(慧)医師は第１・３・５週 芦名医師は第２・４週
消化器内科	清水孝洋 井上　築 前田拓海 今村　敦		髙田真理子 山口佳奈 平川博章		吉田裕幸 星　充 元山美和		清水孝洋 中村真治 樋口勝大		山田　聡 細見英里子 勝見夏帆		
循環器内科	平沼永敏		平沼永敏		吉野智亮		藤岡知夫		永野雄一朗 高見　充 (不整脈・デバイス外来)		
糖尿病・内分泌内科	中村武寛	中村武寛 倉本尚樹	倉本尚樹	倉本尚樹 松田琢磨	武部礼子	武部礼子 松田琢磨	松田琢磨 沼田紘季 ※1	中村武寛 武部礼子	中村武寛	中村武寛 ※2 沼田紘季	※1）　第１・３・５週）松田医師 第２・４週）　沼田医師 ※2）　第２金）午後　中村医師の診察は糖尿病教室開催のため休診 減量支援外来　毎日実施
リウマチ膠原病内科		小川恭生		壺井和幸	壺井和幸	壺井和幸		田村誠朗	越智達哉	越智達哉	9時枠の紹介・初診の診察は不可
血液内科			坂井里奈				医師交替制※				
腎臓内科	瀧口梨愛	瀧口梨愛	安積陽也	安積陽也	原　明子	原　明子	渡邉周平	渡邉周平	谷川知美	志水智哉	
脳神経内科			細木　聡		城洋志彦		菅生教文	菅生教文			火）午前１１：００受付終了
総合内科	西尾智尋 王　康治		西尾智尋 多山　葵		濱﨑健弥 洪　裕典		越智達哉 王　康治		西尾智尋 濱﨑健弥		一般内科・健康診断は総合内科が担当 健康診断）受付時間内で当日の予約外受診可能
脳神経外科			足立秀光				足立秀光※				※第１・３・４・５週のみ（第２週休診）
小児科	浪方悠		江口純治	小柴ゆかり (アレルギー)	小柴ゆかり	長谷川智大 (アレルギー)	島田理穂	老川静香 小児神経外来 吉野翔子 (アレルギー・スキンケア) シナジス・予防接種交替制	中塩美梨	則武加奈恵 (１・３・４) (小児循環器)	小児神経外来）　木 午後 小児循環器外来） 第１・３・４　金）　午後初診はＦＡＸ予約必要 シナジス外来は完全予約制です 詳しくはホームページをご覧下さい
歯科 口腔外科	西田哲也 向仲佑美香 大澤佳乃子		西田哲也 向仲佑美香 大澤佳乃子	向仲佑美香 (手術)	向仲佑美香 大澤佳乃子		西田哲也 向仲佑美香 大澤佳乃子	西田哲也 (手術)	西田哲也 向仲佑美香 大澤佳乃子		水）午前　インプラント・外来手術
消化器外科	中嶋早苗 大村泰輝		鈴木貴久 石川佳奈 堀田南美		細川慎一 牛窪樹飛		村上哲平 久保碩生		口分田尭 髙島　堯		
呼吸器外科			平野　豊	竹尾正彦 (血管外科)			久松加寿也 津山泰徳				
乳腺外科	三瀬昌宏				大久保ゆうこ				三瀬昌宏		月・水・金）１１：００受付終了
整形外科	西口　滋 宇田優樹		渡邉　睦		藤原弘之		山根逸郎 (腎椎) 宇田優樹 橋村卓実※		布施謙三 (腎椎)		※木曜）橋村医師は第１・３・５週のみ
眼科	医師交替制		細木安希子 ※		一戸　寛		河合亮拓		高井章子		１０：３０受付終了 ※火）午前は１０：００診療開始
産婦人科	市田耕太郎 倉智友香		医師交替制 新谷　潔		笹川勇樹 前田美亜		医師交替制 (紹介予約制) 新谷　潔 (妊婦健診)		杉野祥代 前田美亜 (妊婦健診)		
泌尿器科	中村一郎 高　亜羅		吉井貴彦 佐伯義樹 西岡祥子		吉井貴彦 西岡祥子		平田淳一郎 高　亜羅		平田淳一郎 佐伯義樹		
耳鼻咽喉科	丹生健一		後藤昭一		丹生健一		繁治　純		丹生健一		水・金　１０：３０受付終了
認知症疾患医療センター	木原武士		木原武士		木原武士		木原武士				午前は１０：００～
精神・神経科			大塚郁夫		竹村幸洋		岡田将平				【完全予約制】
皮膚科	谷川絢乃 晴木健人		谷川絢乃 千原拓也		谷川絢乃 晴木健人		谷川絢乃 千原拓也		千原拓也 晴木健人		火・木）　１１：００受付終了